



2021年3月期 第3四半期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 IR 室長 畑 謙一

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <https://www.terumo.co.jp/>

2021年2月4日

2021年3月期 第3四半期 決算概要

2021年2月4日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

四半期として売上・調整後営業利益ともに過去最高

(億円)

	19年度Q3累計	20年度Q3累計	増減率	為替除く増減率
売上収益	4,701	4,486	-5%	-3%
売上総利益	2,586 (55.0%)	2,413 (53.8%)	-7%	-5%
一般管理費	1,368 (29.1%)	1,307 (29.1%)	-4%	-3%
研究開発費	370 (7.9%)	359 (8.0%)	-3%	-2%
その他収益費用	15	6	-	-
営業利益	863 (18.3%)	753 (16.8%)	-13%	-10%
調整後営業利益	984 (20.9%)	885 (19.7%)	-10%	-8%
税引前利益	855 (18.2%)	749 (16.7%)	-12%	
当期利益	669 (14.2%)	586 (13.1%)	-12%	

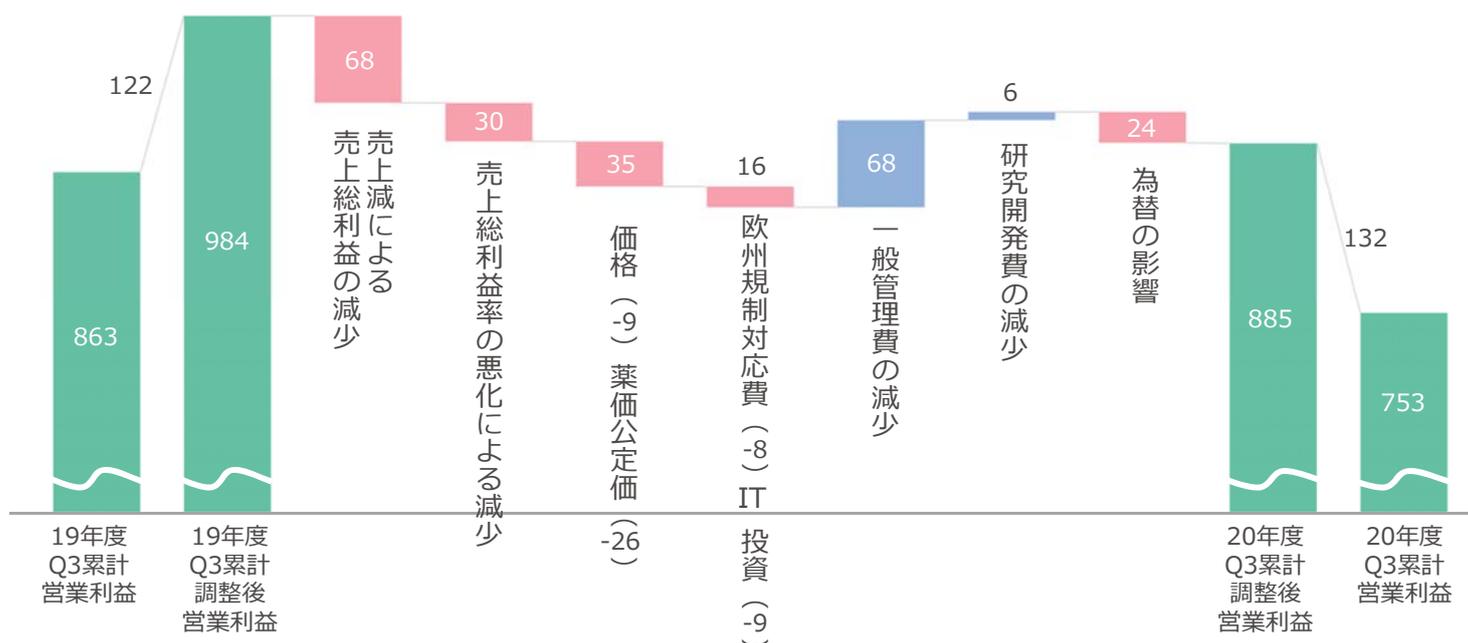
期中平均レート	USD	109円	106円
	EUR	121円	122円

■ 売上収益：心臓血管の需要が着実に回復。他のカンパニーへの新型コロナ影響は依然として軽微

■ 調整後営業利益：売上減少による減益。費用はメリハリをつけたコントロールを継続

調整後営業利益増減分析

(億円)



地域別売上収益

20年度Q3累計
19年度Q3累計

売上収益

100% = 4,486億円

売上収益前年比較

	金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く			
日本	1,483 1,478	0%	心臓血管はQを追うごとに着実な回復。 ホスピタルはQ2以降プラス伸長。 血液・細胞テクノロジーは前年並みに
欧州	875 887	-1% (-2%)	心臓血管はQ2以降プラス伸長。ホスピタルと 血液・細胞テクノロジーは二桁伸長と好調
米州	1,311 1,416	-7% (-4%)	心臓血管は回復と、新型コロナ再拡大の影 響とが混在。ホスピタルと血液・細胞テクノ ロジーはプラス伸長
中国	334 370	-10% (-9%)	ニューロ代理店の受注タイミングの影響を 除いて、顕著な回復傾向
アジア他	482 550	-12% (-10%)	一部の国におけるロックダウンの影響もあり、 全カンパニーにおいてスローな回復



カンパニー別売上収益

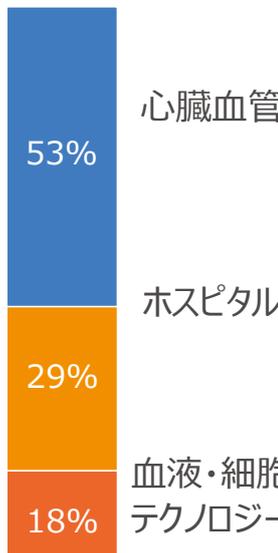
20年度Q3累計
19年度Q3累計

売上収益

100% = 4,486億円

売上収益前年比較

	金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く			
心臓血管	2,384 2,635	-10% (-8%)	症例延期による需要減。 Qを追うごとに着実な回復
ホスピタル	1,290 1,278	+1% (+1%)	アライアンスの二桁伸長に加え、感染対 策製品の需要増や、疼痛緩和の新製 品が、全般的な需要減の影響を上回る
血液・細胞 テクノロジー	810 787	+3% (+6%)	アフレスシ治療数減少の影響を受け たものの欧米における成分採血装置が 牽引しプラス伸長



心臓血管：症例数の回復が進む

(億円)

	19年度 Q3累計	20年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	2,635	2,384	-10% (-8%)	TIS : 製品群全般に需要減の影響も、Q2以降一桁前半のマイナスまでに回復進む ニューロ : 脳動脈瘤治療における症例数の回復が進みQ3はプラス伸長に CV : 症例延期による需要減の影響を日本における装置売上が緩和 血管 : Q2以降、プラス伸長を継続	-174 -36 -37 -3
調整後 営業 利益 (率)	688 (26%)	560 (24%)	-19% (-16%)	売上減による減益。 Q3はTIS、ニューロの回復が進み製品ミックスが改善	

©TERUMO CORPORATION

7 / 13



ホスピタル：アライアンスと感染対策製品で需要減の影響を跳ね返す

(億円)

	19年度 Q3累計	20年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	1,278	1,290	+1% (+1%)	医療器 : 診療制限のマイナス影響を感染対策製品やポンプが緩和 医薬品 : 輸液剤の需要減を、新製品を中心に疼痛緩和がカバー DM・ヘルスケア: 体温計等ヘルスケア製品の需要増 アライアンス : 日本・海外ともに二桁伸長を継続	-17 -8 +16 +22
調整後 営業 利益 (率)	198 (16%)	205 (16%)	+3% (+4%)	ヘルスケア、アライアンスの好調な売上による製品ミックスの改善と、継続的な費用コントロールによりプラス伸長	

©TERUMO CORPORATION

8 / 13



血液・細胞テクノロジー：増収増益を継続

(億円)

	19年度 Q3累計	20年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	787	810	+3% (+6%)	血液センター：新型コロナ回復期血漿に向けた需要増に加え成分採血装置の新ソフトウェアによる牽引 アフレスシス治療：症例減の影響残るも、Q3ではプラス伸長に	+31 -6
調整後 営業 利益 (率)	104 (13%)	144 (18%)	+39% (+46%)	製品ミックスによる売上総利益増に加え、費用コントロールが寄与し大幅増益を継続	

©TERUMO CORPORATION

9 / 13



第4四半期の考え方

■ Q4は欧米中心に新型コロナ再拡大による需要の減少が見込まれる

- 欧米における症例延期の再開等、足元の環境は業績に対しネガティブ
- ワクチン接種の開始や新型コロナへの対応力向上等プラス要素もあり、2020年4、5月ほどの悪化は想定しない

■ Q1にBCP目的で積み上げた在庫を適正水準へ戻すため、生産稼働レベルの調整を開始

■ 一般管理費は一定の抑制を効かせつつ、業績を見極めながら適切に投下

■ 研究開発費は中長期成長の観点から、優先順位をつけてコントロール

©TERUMO CORPORATION

10 / 13



業績予想の修正

(億円)

	従来 予想	今回 修正予想	修正額
売上収益	6,000	6,000	±0
営業利益 (率)	900 (15.0%)	975 (16.3%)	+75
調整後営業利益 (率)	1,080 (18.0%)	1,150 (19.2%)	+70
当期利益	680	750	+70

予想為替レート

USD 通期: 106円 Q4: 104円、通期: 106円

EUR 通期: 121円 Q4: 126円、通期: 123円

■ Q3に想定を上振れした分を織り込んだ修正

■ 配当に関し、5月決算時に発表した予想から変更なし

©TERUMO CORPORATION

11 / 13



主なトピックス

全社

■ 25年連続でグッドデザイン賞を受賞



心臓血管

■ 袋状脳動脈瘤塞栓デバイス「Woven EndoBridgeデバイス」を日本で発売



袋状脳動脈瘤塞栓デバイス
「Woven EndoBridgeデバイス」

ホスピタル

■ テルモ山口で開発製造受託（CDMO）の生産能力を拡充

薬剤充填用注射器
「PLAJEX」



■ 仏Diabeloop社とインスリン自動投与制御システムの共同開発契約を締結



インスリン自動投与制御システム
(イメージ)

■ パッチ式インスリンポンプ「メディセーフウィズ」がCEマーク認証を取得



パッチ式インスリンポンプ
「メディセーフウィズ」

血液・細胞
テクノロジー

■ 自家細胞分離・調製システム「スマートプレップ」を日本で発売



自家細胞分離・調製システム
「スマートプレップ」

■ アフリカにおいて安全な血液製剤アクセスのための官民連携を開始



©TERUMO CORPORATION

12 / 13



20年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
心臓	ステーラブルシース	日	
	PTCAバルーン(Essen社製)	中	
イメージング	IVUSカテーテル	日	済み
オンコロジー	生分解性薬剤溶出型ビーズ	欧	
	末梢血管塞栓用プラグ	米	
脳	血流改変ステント	日米	済み
	バルーン付きガイドカテーテル	欧	
	頸動脈用ステント	日	済み
	袋状塞栓デバイス (Woven EndoBridgeデバイス)	日	済み
カーディオ バスキュラー	次世代人工肺	日	済み
	人工心肺装置(再出荷)	日	済み
	オフポンプ用臓器固定器具	グローバル	済み

領域	製品	地域	ローンチ
血管	腹部ステントグラフト	米	済み
医療器	次期シリンジポンプ	日	済み
	次期針刺し防止機構付留置針	日	
	Open-TCI用シリンジポンプ	欧亜	済み
医薬品	強オピオイド鎮痛薬	日	済み
DM・ ヘルスケア	次期持続血糖測定器	日	21年度に 延期
	血糖測定システム	日	済み
	次期体温計	日	済み

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2021年3月期 第3四半期決算 補足資料 (IFRS)

セグメント別売上概況

(単位: 百万円)

% = 前年比

	2020年3月期 第3四半期累計			2021年3月期 第3四半期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	25,652	153,559	179,212	23,015	-10.3%	138,760	-9.6%	161,776	-9.7%
ニューロバスキュラー	2,887	31,847	34,735	3,330	15.3%	27,766	-12.8%	31,096	-10.5%
カーディオバスキュラー	7,624	26,614	34,239	8,344	9.4%	22,243	-16.4%	30,588	-10.7%
血管	2,013	13,272	15,286	1,918	-4.7%	13,026	-1.9%	14,944	-2.2%
心臓血管カンパニー	38,178	225,294	263,473	36,608	-4.1%	201,796	-10.4%	238,405	-9.5%
医療器	38,929	19,070	58,000	38,741	-0.5%	17,511	-8.2%	56,253	-3.0%
医薬品	35,212	-	35,212	34,397	-2.3%	-	-	34,397	-2.3%
DM・ヘルスケア	15,848	2,269	18,118	17,624	11.2%	2,126	-6.3%	19,751	9.0%
ホスピタルシステム小計	89,991	21,340	111,331	90,764	0.9%	19,637	-8.0%	110,402	-0.8%
アライアンス	10,482	5,971	16,454	11,830	12.9%	6,791	13.7%	18,621	13.2%
ホスピタルカンパニー	100,474	27,311	127,786	102,594	2.1%	26,429	-3.2%	129,023	1.0%
血液・細胞テクノロジーカンパニー	9,022	69,695	78,717	8,954	-0.7%	72,053	3.4%	81,007	2.9%
その他	168	-	168	191	14.0%	-	-	191	14.0%
計	147,842	322,302	470,144	148,349	0.3%	300,279	-6.8%	448,628	-4.6%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥108.65)

(EUR1=¥121.04)

(USD1=¥106.11)

(EUR1=¥122.44)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計
営業キャッシュ・フロー	73,324	73,471
投資キャッシュ・フロー	△ 57,119	△ 63,022
フリーキャッシュ・フロー	16,205	10,449
財務キャッシュ・フロー	△ 24,409	△ 5,652
現金及び現金同等物の換算差額	△ 1,822	△ 1,935
現金及び現金同等物の増減	△ 10,027	2,861
現金及び現金同等物の期首残高	122,982	166,898
現金及び現金同等物の期末残高	112,955	169,760

参考情報

	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 業績予想
研究開発費	37,037	35,892	48,000
設備投資額	63,081	51,658	80,000
減価償却費及び償却費 ^{*1}	34,894	36,138	50,000
基本的な一株当たり当期利益(円)	89.64	77.63	99.33

*1 使用権資産償却費を含んでおりません。